

上昇する国内金利、 見直したい国内債券

ぜ

口金利時代が長く続いてきたことで、「国内債券はあまり期待できない」という意識が刷り込まれている方も多いのではないだろうか。事実、ここ10年程のパフォー

マンスは、その他の資産と比較すると見劣りする状況だ。

しかし、国内金利の上昇が続いた結果、現在国内債券は見直すべき価値のある資産クラスに変貌しつつある。例えば、代表的な商品である個人向け国債は、今年8月に2010年7月の毎月発行開始以来初めて単月の発行額が1兆円を超え、9月発行の5年債発行利率（税引前）は初の2%台となった。基準となる国債の金利が上昇しているため、信用リスクを上乗せした社債の条件も、これまでより魅力的になってきている。

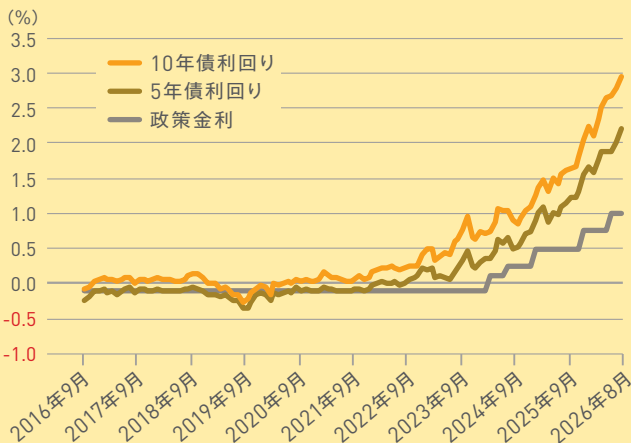
もっとも、金利上昇の要因の一つは日本の財政の将来に対する不安やインフレへの懸念などで、金融政策も基本シナリオは利上げ方向が想定される。金利上昇は今後も続く可能性がありそうだ。

金利の上昇は、すでに発行されている債券価格の下落につながる。いわゆる金利リスクだ。一方で、債券投資は持ちきりを前提とすれば、金利の影響を限定的にすることも可能だ。また、先に紹介した個人向け国債の10年債は半年ごとに金利が変動する変動金利型で、金利上昇局面では強みを発揮するタイプだ。

金利ある世界に戻ってきた日本。まずは、国内債券にどんな商品があるのか、その確認から始めてみてはどうだろうか？

M

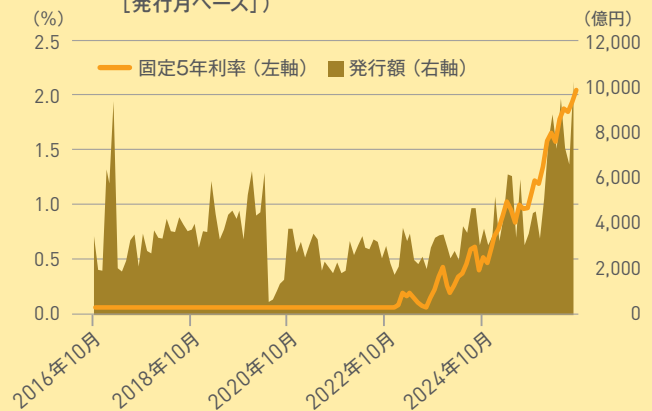
■ 図表1 国内金利の推移（月次、2026年8月まで）



（出所）Bloombergのデータをもとに当社作成

■ 図表2 個人向け国債の利率と発行額の推移

（月次、固定5年利率は2026年9月、発行額は同8月まで
【発行月ベース】）



（出所）財務省のデータをもとに当社作成

国内債券という選択。 いま、始めませんか。

当社では個人向け国債をはじめ、
さまざまな国内債券をご用意しています。
お客さまのご要望や運用目的に合わせた商品をご提案します。
お取引店までお気軽にお問い合わせください。

